

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
①	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「地域から信頼され、共に生活を営み楽しむ」という理念を掲げ運営している。認知症カフェを通して実践している。			・たきたきカフェに利用者さんが参加して下さる日を切に願っている。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域行事(新年会・初詣・年2回のクリーン作戦)、認知症カフェ、事業所の草刈りを通して可能な限り交流している。	・コロナ禍であっても工夫を重ねて、交流しようと努力されている。・小田中の村用、年2回などご出役いただき大変お世話になっている。・こまめに地域との交流を続けておられる。・法人の音楽療法士が地域の敬老会に参加したこと。こういった活動がよりホームが地域とひとつになれると思う。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営報告後、出席者から情報収集をしている。身体拘束適正化、認知症カフェの運営についてもアドバイス等を求めている。	・会議を利用者さんも入れるスペースで行い、アットホームな中で進めておられます。・アドバイスから実現可能なことは実践されている様子。・会議で毎日のホームの様子を報告いただき、また各出席者の意見を聞き、関係性を築かれていると思う。・認知症カフェを継続して下さっていることに地域の人間としてありがたい。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市主催の会議、認知症カフェ、運営推進会議を通して協力関係を築くように取り組んでいる。	・会議には市の方も来られ、積極的に意見交換をされています。・行政との連携は分からないが、認知症カフェを通して取り組んでおられる。・認知症カフェについては、毎回様々な企画をされていると聞いています。地域と開かれた関係作りをされていて大変なことだと思います。・会議に参加して、身体拘束にあたる具体例を知ることができた。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の事業所内外での研修などに積極的に参加している。夜間を除き玄関の施錠はしていない。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所内外での研修を通し再確認している。ストレスチェックや面談を通してストレスを溜めないように努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできる C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・私自身、権利擁護に関する制度にどんなものがあるのかを理解して地域の人々にも啓発していきたい。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	制度利用者があるので知識は有している。事業所にはパンフレットを置き啓発に努めている。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時や改定の際には丁寧に説明をして理解を得るようにしている。改定の際は書面での説明以外にも不明な点がないか尋ねている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意見苦情の窓口だけでなく、外部評価の公表や家族アンケート、日頃の面会や電話連絡で意見を反映している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者の家族からは「いつも大変よくしていただいている。明るく元気に過ごしているようで嬉しい」との声を聞いている。・これからも引き続き意見を反映できるホームであるようお願いいたします。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のスタッフ会議だけでなく、日常的に意見や提案がしやすい環境をつくるように心がけている。また、職員が管理者を評価するアンケートも実施している。			・スタッフさんがみなさん明るく、やさしく、元気なところが物語っている。・風通しのよい職場は利用者さんへの利益になると思います。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員個々の就業環境に配慮している。また、得意分野を業務やケアに活かせるようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	キャリアパスを有効に活用しながら、資格の取得への啓発や法人内外の研修への参加を促している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・キャリアパスは定期的に自身の技術を見直し、初心に帰る意味でも良いと思います。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修会の参加、法人内の交流が徐々に増えてきている。			コロナが5類になったことで、同業者との交流が増えそうですか？（交流会、研修の案内なども増えている。職員の自宅療養期間も短縮されているので、職員体制の確保も予定が立てやすくなっている）
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は暮らしの主役は入居者であることを理解し、食事・洗濯・掃除・買物などできることを見極め支援している。			・スタッフさんの姿を見ていると利用者さんとの関係がよくわかる。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染状況を見極め、自宅への外出、知人宅への訪問、買物などを再開している。	・コロナが流行していて嚴重注意の中、出れないのは仕方ない。そんな中、交流や外出を模索されていたと思います。・制限のない日常が早く戻ってほしい。・コロナという要因が収まった後に再開が出来たらよいですね。・コロナが5類に変わり、これから様子をみながら取り組んでおられると思います。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これまでの生活歴や日常生活での言動、表情からくみ取れるよう努めている。家族や知人からの情報も活かすようにしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族から意向を伺い、話し合いの場を設けている。現状に沿った介護計画であるか、ケアマネージャーと連携しスタッフ会議でも検討している。	・会議に家族の方も参加され、とても感謝されている様子から十分練った計画をされていると感じられた。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・スタッフ会議はいつ行われるのか？年中無休の中、利用者さんが就寝されてからなのか？（→毎月、最終日曜日の午後から会議をしている）・特に状態変化が生じた時は意向確認が大切だと思います。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人記録や申し送り、日々の業務の中で情報を共有している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・個人記録をとることは大切なことだが、多忙な勤務の中、ご苦勞なことだが今後も努力してほしい。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	受診対応や入退院の送迎、外泊時の自宅への送迎など、可能な限り柔軟に対応している。	・施設中での過ごし方や作業で作られた作品を見ていると、一人ひとりに丁寧な対応をされていることがわかります。・ご本人もご家族も安心されていると思います。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市役所・地域包括・まち協・医療機関などと情報の共有を図り、よりよい暮らしができるように努めている。	・コロナの心配がなくなれば、もっともっと進められると思います。・地域住民として遠慮なく協力要請してほしい。・東地域の中心となっている様子。		・コロナ5類移行で地域との関わりに変化はありましたか？（→地域行事などの再開により、参加の機会が増えてきている）
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医は法人内の医師であり、入居時に同意を得ている。月2回の往診や必要に応じて外来受診をしている。			・ご家族にとって、月2回の往診や外来受診も必要に応じて実施していただけることはとても安心だろう。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ほとんどの場合が法人内の病院となっている。主治医や看護師との連携が円滑に行えている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・とても安心、満足できる連携である。今後もぜひ継続していただきたい。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に終末期について説明をして意向確認をしている。状態に変化があった場合、本人や家族を中心にチームで相談し方針を決めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用期間に制限がないこと、終末期まで見守られて逝けるのがとても有難い。・終末期の意向は都度変わることがあるので、可能な限りでこまめに聞きとっていただきたいと思っています。

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護事業所指針に沿って対応できるように研修や訓練をしている。今年度は消防署による喉詰め時の研修を開催した			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な訓練や研修を実施している。地域の防災訓練に参加、運営推進会議で災害についても話している。また、法人内での協力体制も整備している。	・利用者の状況から避難、災害後の生活も考えておられると思います。法人内の協力体制を整備されていること、とても有難い。・訓練の様子を拝見ししっかりとされていると思います。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ひとりひとりに適した関わりや言葉かけをすることで安心できる人間関係を構築している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者の明るく穏やかな表情が一人ひとりを大切にされていることが物語っている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	起床就寝は入居者のペースを優先している。体操や余暇時間、音楽療法など、本人の希望に沿った支援をしている。			・夜勤となると1人で9名の介護は、利用者のペースを優先するのは大変だと思います。ありがとうございます。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できることを見極め、買物・調理・片付けをしている。菜園の野菜を活用すること、一緒におやつを作るなどは好評。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・食事を楽しみと思えるのは生きる上で大切なことだと思います。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の管理栄養士による栄養評価を受けることで、バランスを考えた献立や調理をしている。また、食事形態、体重の増減、既往歴に配慮して支援している。			・管理栄養士の評価についても話してもらえると有難い。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアも自立支援と捉え、毎食後に実施。歯科医の往診が月1回、衛生士の口腔ケアが週1回ある。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・衛生士の口腔ケアが週1もあるのにびっくり。安心対策、充実のひとつである。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄チャートを活用して排泄パターンを把握して支援している。できる動作は自身で行ってもらうように配慮している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・高齢者の便秘の大変さを知っていると、便秘予防に今後も取り組んでいただきたい。

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	可能な限り希望に沿えるように支援している。午後の夕食までに入浴して一日の疲れを癒してもらうようにしている。状態に応じて特殊浴での入浴もしている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	健康に影響が出ない範囲で本人の意向を尊重している。室温や照明、寝具なども個人に応じた支援をしている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内服薬を理解し症状の変化に応じて、主治医・看護師に報告をして指示を受けている。処方せんはいつでも確認できるように管理している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	掃除・洗濯・調理・菜園・作業などを無理のない範囲でもらっている。職員は感謝の気持ちを本人に伝えるように徹底している。	・わずかな時間ではありますが、入居されている利用者さんが安心して過ごしておられる姿を見ることができました。・スタッフの方が「〇〇さん、ありがとう」と利用者さんに感謝の言葉を言われているのをよく耳にする。・限られた環境内ではむずかしいですが、自宅での日常と同じようにされていると思いました。・利用者ひとりひとりが生きがいを感じられるように支援を続けてください。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナ感染状況を見極め、本人や家族の希望に沿った外出ができるようになってきた。	・コロナの前の様な活動をどのように気をつければ、今実施できるか、会議でも考え、実行しようと考えているのがわかります。・コロナが5類になり、これからの取り組みに期待しています。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	預かり金は事業所で行っている。可能な限り支払いができるように支援している。家族に了承を得てから本人に所持してもらうこともある。			・近隣のチルドレンズミュージアムの中に駄菓子コーナーがあり、買物ができる。昔を懐かしむことができるのではないかな。

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自由に電話や手紙のやり取りができるように支援している。個人情報取り扱いについては入居時に確認をしている。			・特にご家族との交流(電話・お手紙)はいつまでも大事にしてほしい。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々に応じた安全配慮に努めている。本棚には書籍や雑誌、季節感のある作品、分かりやすいカレンダー、地域住民からの風景写真の寄贈などで工夫している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・いつ訪問しても共同作業で手作りした季節感あふれる掲示物があり快い。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出や自宅への帰省は徐々に再開している。ホームでの暮らしにおいては、可能な限り意向に沿うようにしている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	適切に情報を把握して希望に沿ったケア・支援ができるようにしている。本人、家族にも支援について意向確認をしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医・看護師・歯科医・歯科衛生士・リハビリスタッフ・ケアマネージャーと共同してケア・支援をしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・家庭でひとり暮らしできないことが、グループホームでは多様なネットワークで連携されているので安心。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	就寝起床時間、夜間の照明、テレビをつけて寝る、日々の更衣、洗顔に化粧など個々に応じて支援している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅で使用していた家具な家族の写真、思い出の品を持参されている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナ感染リスクを見極め、徐々に散歩、ドライブ、買物を再開している。	・可能な範囲、人数でお花見をされたと同じ、工夫されていると思います。・感染リスクを見極めながら再開されている。・感染リスクとのバランスは難しいですが、その人らしい生活が続けられるように支援できるといいですね。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は入居者ができることを見極め、日常生活の中で発揮できるように支援している。不安になる前に対応できるように努めている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	掃除・洗濯・調理・菜園・作業などを無理のない範囲でもらっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・広報に載っている写真でご本人が明るく楽しくておられる様子がよくわかる。

48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができている	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	散歩の際に交流することはあるが、催しなどには参加できていない。しかし、地域の人々がホームに來られた際は交流できている	・交流のリスクが大きい方々なので慎重であることは大切だと思います。同時に日々の生活に刺激となる交流も必要ですね… ・また催しに参加できる日が来るとよいですね。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	暮らしの中では職員や入居者同士のつながり、医療面でのサポートによって安心されている。新型コロナウイルス感染症対策においては、徐々に家族や友人とのつながり、外出を再開している。今後も感染リスクを見極め支援していきたい。	・職員さんの温かな支援や励ましで安心されているように見ました。これかも是非そのようにお願いします。・グループホームに入居されたことによって、元のご本人に戻られた様に明るさと元気を取り戻された。ご家族も本来の母親らしさを取り戻されたことをとても喜んでおられた。知人としても嬉しい。・ご本人が自宅で生活するのと変わらないような生活が続けられるようお願いします。・感染予防と地域交流のバランスは難しいと問題もあると思いますが、できるだけ人のつながりを大切にしていけるといいですね。	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	

(参考様式4)

目標達成計画

事業所名 グループホーム篠山東

作成日： 令和 6 年 1 月 25 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	15	馴染みの人や場との関係継続の支援の機会が少ない	個別外出(買い物、散歩、認知症カフェ)を増やす。	個人の希望に応じて、定期的に外出できるように職員体制、業務調整を行い、時間を確保する。	12ヶ月
2	29	年2回の管理栄養士による栄養評価を具体的に報告できていなかった。	提供している食事内容や栄養評価について知っていただく機会をつくる。	栄養評価の公表(年2回)、昼食会を兼ねて運営推進会議を開催する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。